

加藤文太郎のプロフィールと登山に関する足跡をパネルで解説する企画展=いずれも県立六甲山ビターセンター



加藤が愛用していた登山靴やピッケル、飯ごうなどの山道具の実物も展示。迫力を感じる



槍ヶ岳で遭難した加藤について報じている当時の新聞記事

◆六甲山で学習しよう 「六甲山の自然と共に育まれた神戸ならではの歴史・文化を学ぼう！」 11月25日10時～14時半、県立六甲山ビターセンター（六甲ケーブル「六甲山上」駅からバス「記念碑台」）。10～12時は講義。六甲山の歴史や文化、人と自然の関わりについて映像と音楽を交えながら解説△12時半～14時半は周辺散策。神戸ゴルフ俱楽部の特別見学もある。弁当、飲み物持参。小雨決行。定員30人程度。参加費800円、小学生以下500円。ファクス（078-303-1218）などで申し込む。NPO法人六甲山と市民のネットワーク☎078-851-4600

◆紅葉とロープウェーを撮る！スマホフォト講座 11月23日13時～15時半、神戸市北区の有馬の工房（神鉄「有馬温泉」駅徒歩約10分）。開催中の「インスタグラム・フォトコンテスト」の運動企画。プロカメラマンの船積優子さんの「スマホフォト講座」の後、SNS映えする、かわいい、きれいな写真撮影のための技術を教える。受講後は紅葉が見頃の六甲、有馬＝写真＝で撮影会。スマホからフォトコンテストに応募も。参加費無料。先着10人。メールの件名に「スマホフォト講座参加希望」と記し、名前、電話番号を記入し、(info_rope@kobe-sumai-machi.or.jp)へ申し込み。神戸すまいまちづくり公社・都市整備課ロープウェー事業☎078-251-8307（平日8時45分～17時半）



◆自然と対話する「摩耶山の森を感じるプログラム」La Nature Concert～音を感じる～ 12月2日14時半、神戸学生青年センターホール（阪急「六甲」駅すぐ、JR「六甲道」駅徒歩約15分）。出演は雁瀬由香さん（ピアノ）、上野明子さん（フルート）、インフィート（歌）。六甲山のイメージソング「六甲山森のおくりもの」のほか、ドップラ

六甲山にまつわる自然、環境、文学、食などの多彩な催しを大学のカリキュラムに見立てて情報発信する「六甲山大学」。そのプログラムの紹介や、山の旬の情報を通して、六甲山の魅力に迫ります。（毎月第2火曜日に掲載）

| | |
|----------|------|
| 火 Tue | イベント |
| 水 Wed | グルメ |
| 木 Thu | レジャー |
| 金 Fri | アート |
| 土 Sat | エンタメ |

■情報のご提供は
FAX 078-360-5512
E-mail aozora@kobe-np.co.jp

加藤をモデルとして描かれた小説や漫画、特集雑誌なども並ぶ



各地の山へ出かけた際に加藤が買い集めた山の絵はがきコレクションの1枚

全山縦走の先人 足跡たどる

現在残る記録によれば、六甲山縦走を初めに成し遂げたのは直木重一郎ら3人とされている。25歳の加藤文太郎も、ほぼ同時期に全山縦走を行っている。日付が正確に分かる資料がないため、最初に成功したのが誰なのかは謎ともいえる。

大正年間、この全山縦走に挑み、名登山家・加藤文太郎（1905年36歳）を取り上げた企画展が、神戸市灘区六甲山町の県立六甲山ビターセンター（記念碑台）で開かれている。

地元だけなく全国から参加する

人も多く、千人以上が挑戦する。

六甲登山の先人として名を残した

名登山家・加藤文太郎の企画展

来月19日まで、六甲山ビターセンター

企画展「六甲山縦走の先人・加藤文太郎の追憶」は12月19日まで、入場無料。午前9時半～午後3時（土日・祝日は午後4時まで）。12月からは午前10時～午後3時（土日・祝日も同）。月曜休。

（大正14）年11月29日、14時間余りで歩いたといふ。しかし、當時、神戸を拠点に活発に登山を行っていった加藤文太郎も、ほぼ同時期に全山縦走を行っている。日付が正確に分かる資料がないため、最初に成功したのが誰なのかは謎ともいえる。

ただ加藤は、金山縦走を超えて、和田岬にあつた寮を早朝5時頃に出て、須磨の敦塚から宝塚まで縦走。その後市街地を歩いて翌日午前2時に寮に帰宅したところだ。約100kmの長距離を21時間でこなすという驚異的な工作效率は、その後の登山爱好者の憧れとなつた。

「文太郎チャレンジ」と称して、今も時折、このコースに挑む猛者がいると聞く。今回の展示は、そんな加藤の輝く人生の軌跡を辿る。三菱内燃機製作所（三井重車の前身）に入社した。仕事

やがて日本アルプスの高峰にも挑戦するようになった。登山は「裕福な上流階級のスポーツ」の時代で、山は案内人を雇つて登るのが常識だった。そんな中、加藤は「単独」で山頂を目指した。

愛用の登山靴やピッケルなどの道具も展示。當時としては人手が困難だったと思われる装備を、苦労して集めたことが分かる。給料をためて購入したのだろうか、幾らだったのだろうか、想像が膨らむ。また旅先で集めた山の絵はがきなどの实物からは、神戸から各地の山々へ出かけた足跡がよく分かって日本アルプスの高峰にも挑戦するようになつた。登山は「裕福な上流階級のスポーツ」の時代で、山は案内人を雇つて登るのが常識だった。そんな中、加藤は「単独」で山頂を目指した。

ただ加藤は、金山縦走を超えて、和田岬にあつた寮を早朝5時頃に出て、須磨の敦塚から宝塚まで縦走。その後市街地を歩いて翌日午前2時に寮に帰宅したところだ。約100kmの長距離を21時間でこなすという驚異的な工作效率は、その後の登山爱好者の憧れとなつた。

「文太郎チャレンジ」と称して、今も時折、このコースに挑む猛者がいると聞く。今回の展示は、そんな加藤の輝く人生の軌跡を辿る。三菱内燃機製作所（三井重車の前身）に入社した。仕事

やがて日本アルプスの高峰にも挑戦するようになった。登山は「裕福な上流階級のスポーツ」の時代で、山は案内人を雇つて登るのが常識だった。そんな中、加藤は「単独」で山頂を目指した。

◆摩耶山リュックサッカーマーケット 11月17日11～16時、摩耶山掬星台（摩耶ロープウェー「星の駅」すぐ）。リュックひとつで誰でも参加できるフリーマーケット。聞かなくなったCD、古本、自分で描いた絵、古着など持参して当日受け付けすれば、出品できる。出店料不要。荒天中止。monte702☎078-882-3580（11～17時、火曜定休）

◆久良夢ひろば「秋のもみじまつり」 11月23日10～12時、久良夢ひろば（阪急「岡本」駅徒歩約15分）。市街地の近くにあり、自然にふれあえる広場で紅葉を観賞できる△親子ヨガ=10時、11時からの2回。小学校低学年以下の子どもと保護者対象。各回先着20人△宝探し=広場周辺に隠された謎を解き、キーワードを集めて宝を見つける。先着30人△ティータイム=コーヒーと紅茶とお菓子付き。先着30人。いずれも参加費無料、当日受け付け。雨天中止。久良夢ひろば利用者ネットワーク事務局（東灘区役所まちづくり課内）☎078-841-4131

◆スキーデビュー応援企画 12月10日～3月29日の平日11～13時、六甲山スノーパーク・ゲレンデ（六甲ケーブル「六甲山上」駅から六甲山上バス「六甲山スノーパーク」）。同パーク入園券とリフト1日券、スキーエアセット、レッスン（120分）がセットになって1万円。初心者だけでなく再挑戦したい人にもおすすめ=写真。対象は中学生～65歳。各日定員12人。電話かホームページから申し込み。六甲山カンツリーハウス（六甲山スノーパーク）☎078-891-0366（9～17時）



催しの日程、内容などは変更される場合があります。お出かけ前に主催者にご確認ください。ホームページhttp://653daijaku.com/

六甲山大学

ROKKO-SAN DAIGAKU

わたしたちは 六甲山大学 の活動を応援しています

協賛企業

領域をこえ 未来へ
OJI

ひとの
ときを、
想う。

Daiwa House®

TAKENAKA